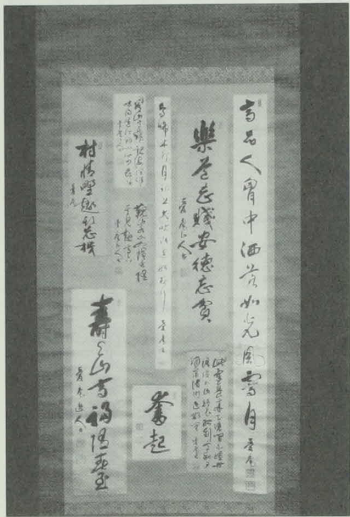


(公財)神戸大学六甲台後援会だより

(32)

水島鏡也先生の生誕150周年に思う

先般、県立神戸商科大学（現兵庫県立大学）の4回生（昭和29年卒）の大森尚さんから、突然ありがたい申し出を頂きました。氏は、元毎日放送テレビで活躍されたジャーナリストで、ご自身の出身学校の歴史のほか、いろいろな社会経済問題についてもジャーナリストらしく着実な資料蒐集と分析をしていられている方です。その大森さんが、インターネットで水島鏡也先生の何枚かの書が大きな掛軸に一緒に装幀されたものを発見、入手されました（写真）。水島先生が県立神戸商業高校の前身である神戸商業講習所の第一期生であり、また、神戸市立第一神港商業の校長までも務めておられた方ですから、大森さんは、はじめはこのどちらかに、自分で購入したこの貴重な掛軸を寄贈しようと思ったと言われます。しかし、そのどちらの学校も、その保存について必ずしも大森さんが考えておられた状況ではないことが分かり、県立神戸高等商業学校の卒業生であり、日頃から親しくしている当会



の新野理事長にその保存管理を申し出てはどうかと考えられたそうです。大森さんは勉強家ですから、水島先生が神戸高商の運営に画期的な役割を果たされたことはもちろん、神戸大学六甲台の講堂前に水島先生の胸像があることなども、よくご存じでした。しかも、来年はその水島先生の生誕150周年に当たるので、神戸大学ではきっと何らかの記念行事もお考えになっているのではないかと、それに少しでも役立つようなら、この際、新野理事長に相談してみようと思われたようです。

水島先生が揮毫された書の幾つかは、いま、経済学研究科長室と経営学研究科長室、凌霄会事務所、当会事務局のあるロイスミス館および経済学研究科会議室にあります。そのうち、経営学研究科長室とロイスミス館には「重信義慎私慾」が、経済学研究科会議室には「正義正論」が掲げられていますが、それ以外に「凌霄会」の名称の基になった有名な「凌霄雪而香」があります。なお、ロイスミス館の書は、館購入の直後から保存されていましたが、どちらから寄贈されたものかは分かりません。その点、経営学研究科長室に掲げてあるのは、当会常務理事である中野常男先生が平成23年8月の日本簿記学会全国大会の折に、知遇を得た久留米市立久留米商業高校教頭の江頭彰さんから譲り受けられたものであり、経済学研究科会議室のそれは、元神戸経済大学長を務められた花戸龍蔵先生の為書きのあるもので、花戸先生がご逝去になったあと、奥さまから花戸先生の講座の後継者である中村一雄先生を通じてお話があり、当時の新野学長が受領されたものです。そういう点でも、今回大森さんから申し出のあった掛軸を新野理事長が受領すること

になったのは、偶然とはいえ誠に意義深いことだと言えます。水島先生の揮毫書は、ご承知の方もあると思われませんが、以下の著書に数多く収められています。渡部義雄編「水島鍊也先生伝」（昭和14年11月、愛庵会発行）、水島先生生誕記念事業会編「愛庵先生の横顔（水島鍊也先生外伝）」（昭和41年3月、実業之日本社）などがそれです。

周知のように、今日、神戸大学の基本精神とされている「真摯・自由・協同」は、神戸商業大学初代学長の田崎慎治先生が、昭和4年の入学式で、水島先生のご高德の下に遺産として継承する学風として述べられたものです。先に挙げましたように水島先生の生誕100周年の時には、それを記念して事業会も設けられていました。しかも、その時の出版書の代表を務められたのは、出光佐三さんです。大分県中津では、同地を代表する三傑として、福沢諭吉、水島鍊也の両先生と出光佐三さんが挙げられています。水島先生が、神戸高商に來られるようになった背景には、ご尊父の勤務先の関係で、姫路中学に入学、卒業され、その後、福沢諭吉さんの指導のもとに設立され多くの中津出身者の在学する神戸商業講習所の一期生になられたことにあるかも知れません。ともあれ、いまや神戸大学の基本精神とされるようになった三つの精神を謳われた水島先生の生誕150周年が来年に迫りました。奇しくも、水島先生の掛軸が受け入れられたのを契機に、いま国際的な大学として発展を期している神戸大学の飛躍のためにも、改めて志のある者が集まって水島先生の生誕150周年記念の何らかの事業を実施することも意義深いことと考えられます。大学当局とも相談はしてみ

たいと思います。場合によっては凌霜会と六甲台後援会だけでも具体案を考えてみてはとも思います。その節はまた、ご協力のほどお願いいたします。

元首相・犬養毅さんの扁額「万物備乎我」の発見について

一昨年の12月初旬、兼松記念館の2階書庫で作業中の職員が、犬養毅書と書かれた「万物備乎我」（万物我に備わる）とある扁額を発見しました。大学文書史料室長補佐の野邑理栄子さんにもチェックして頂きましたが、落款などを見ても犬養毅さん（昭和6年首相、同7年の五・一五事件で暗殺された）の書に間違いありません。大正14年9月25日発刊の「凌霜」第9号に



も、「6月23日午後3時前通相犬養毅氏來校一場の講演をなす」との記事があり、しかも旧兼松記念館前での記念写真まで残っています。写真の前列右から4人目で、杖とシルクハットを手持っている人物がそれで、その右隣りが水島先生です。この「万物備乎我」というのは、孟子の「萬物皆備於我矣」から生まれた言葉で、「人間は自分の内に限りない創造発展の力を内

蔵している」という意味だとされています。先に取り上げた水島先生の掛軸とともに不思議な発見でした。

いつものご寄付に感謝して

今号でも皆さんからのご寄付を報告できることは大変ありがたいことです。まず、前号で法学研究科と国際協力研究科の先生方からのご寄付についてご報告しましたが、その後、経営学研究科の先生方57名17万1千円、経済経営研究所の先生方16名4万8千円、経済学研究科の先生方51名16万2千円のほか、野中克己様（昭44・経済）100万円および中嶋義昭様（昭43・経済）10万円のご寄付を頂きました。これで、平成24年度の寄付金合計額は6,960万6,618円となりました。平成16年度に皆さんにご寄付を呼びかけさせて頂いてからの合計額は、約2億8,448万円にも達しました。本当にありがとうございます。しかし、母校の研究・教育体制と、その成果の充実発展のために、今後とも皆さんの絶大なご貢献をお願い申し上げます。

なお、六甲台後援会へのご寄付につきましては、税法上の特別措置のある証明書付きの領収書をお送りしております。ご寄付の手続きは以下の通りですので、よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡に時間がかかり、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構です）から、ご送金について事務局までご一報ください

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496
口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会
◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 00980-9-116772
口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078)861-3013

E-mail rokodaiund@kobe-u.com

